



MIYAZAKI

中央会だより | 12

December 2025
No.762

■ CONTENTS

特集 [P1]

中小企業労働事情実態調査報告
概要 宮崎版

レポート [P5]

ほっとひと息 [P10]

情報連絡員報告 [P11]
令和7年10月期



ともに考え ともに動く 連携組織のパートナー
宮崎県中小企業団体中央会



令和7年度中小企業労働事情実態調査報告【概要：宮崎版】

宮崎県中小企業団体中央会では、県内中小企業の労働事情を的確に把握し、適正な中小企業労働対策の樹立及び時宜を得た中央会の雇用労働対策事業の推進に資することを目的として、県内600事業所を対象に「中小企業労働事情実態調査」を実施しました。その調査結果の概要を報告します。

■調査時点 令和7年7月1日
■有効回答数 296(回答率49.3%)

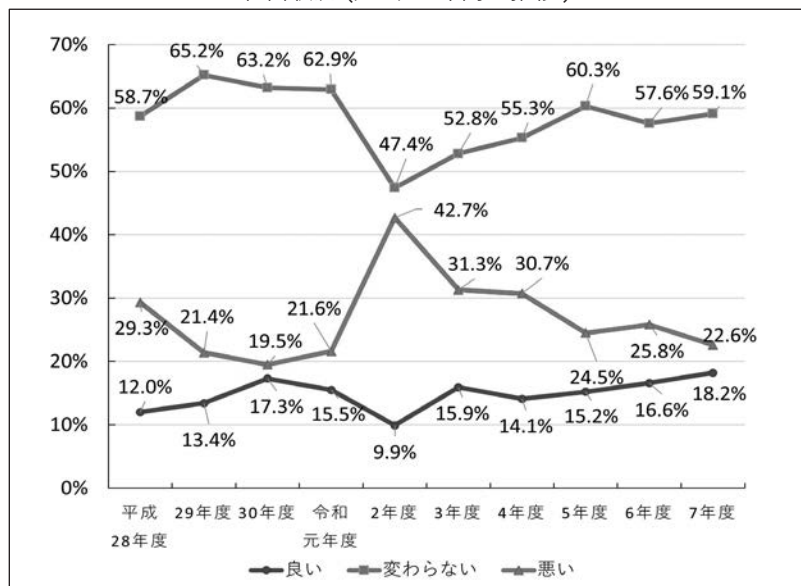
従業員数	1～9人	10～29人	30～99人	100～300人	合計事業所数
製造業	36	49	17	6	108
非製造業	74	69	35	10	188
合計	110	118	52	16	296
構成比率	37.2%	39.9%	17.6%	5.4%	100.0%

1 経営は持ち直し傾向、慎重な姿勢続く

県内中小企業の経営状況は、改善が続いています。「良い」と答えた企業は18.2%と前年(16.6%)より1.6ポイント増加しました。一方で「悪い」は22.6%(前年25.8%)と減少しました。

一時的に下げ止まっていたマイナス評価が再び減少に転じ、全体として回復傾向が見られます。

<経営状況(過去10年間の推移)>



今後の事業方針では「現状維持」が約7割を占めており、依然として慎重な姿勢がうかがえます。全国と比べてもその傾向は強く、事業拡大を掲げる割合は全国平均を下回りました。

業種別では、非製造業のほうが「強化・拡大」に前向きで、業種による経営意識の差が見られます。

<主要事業の今後の方針(全国・業種別比較)>

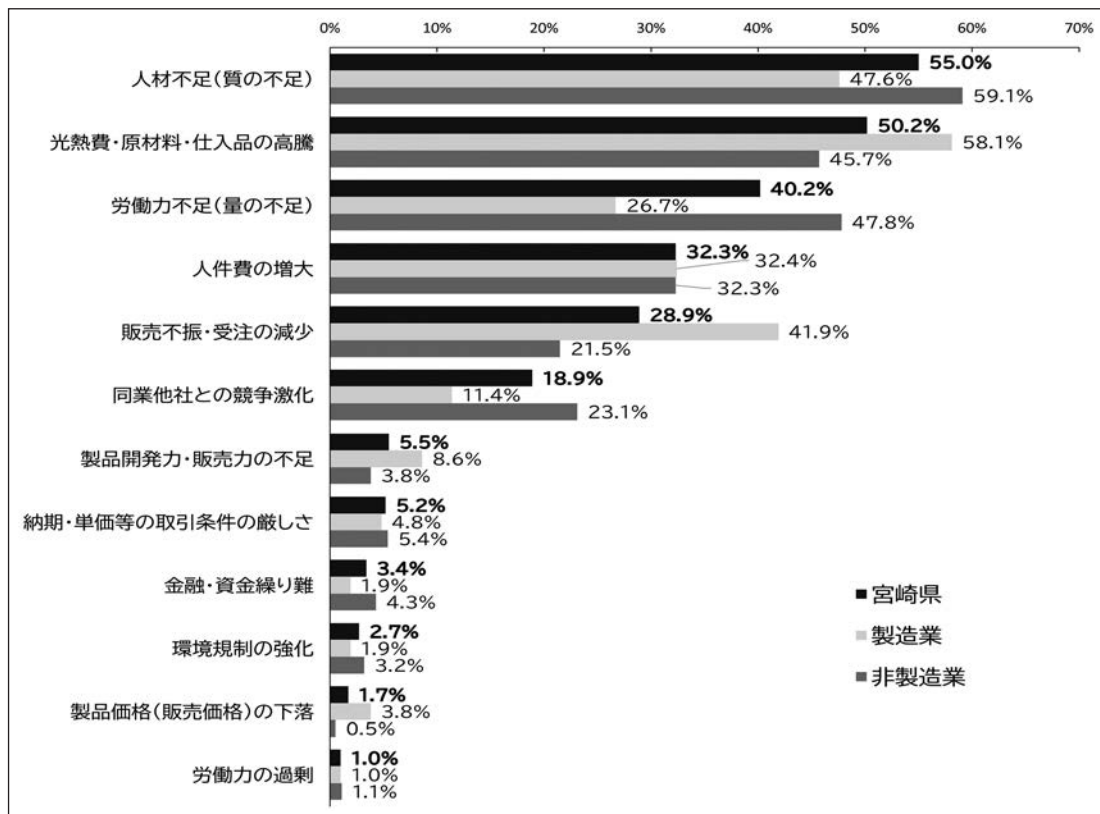
	事業所数	強化拡大	現状維持	縮小	廃止	その他
全国	15,278	31.3%	62.5%	4.8%	0.9%	0.4%
宮崎県	296	24.7%	69.9%	3.7%	0.3%	1.4%
製造業	108	18.5%	75.9%	2.8%	0.9%	1.9%
非製造業	188	28.2%	66.5%	4.3%	—	1.1%

2 経営を圧迫する障害は人材とコスト

経営上の最大の障害は「人材不足(質の不足)」で、全体の過半を占めています。次いで「光熱費や原材料高騰」「労働力不足(量の不足)」が挙げられ、コスト上昇と人手不足が二大障害となっています。

製造業ではコスト上昇対策が、非製造業では人材確保が最大の課題となっています。業種によって障害の内容に相違が見られます。

<経営上の障害（業種別比較）>

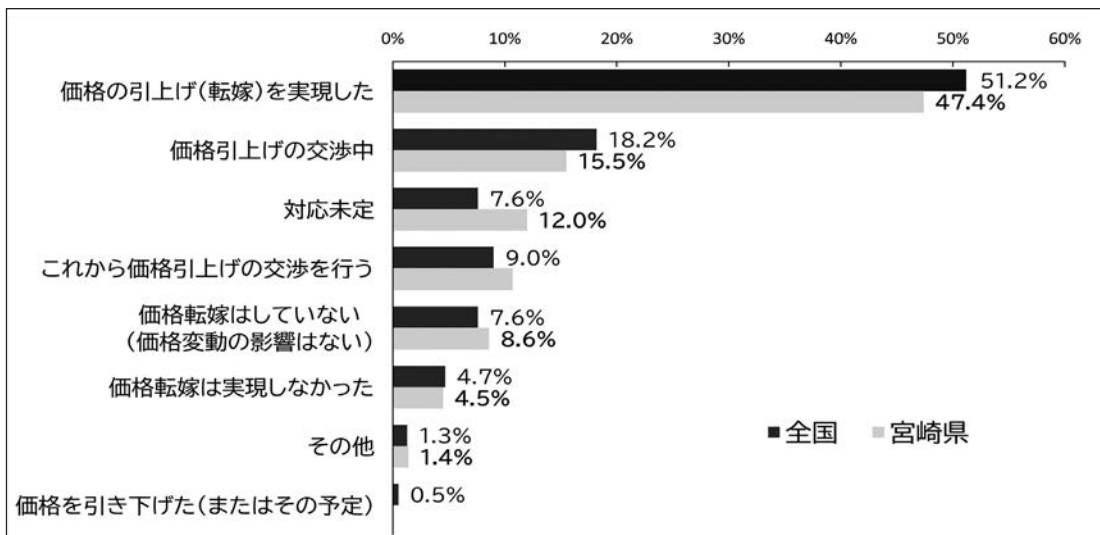


3 物価上昇への対応—価格転嫁と賃金改定の動向

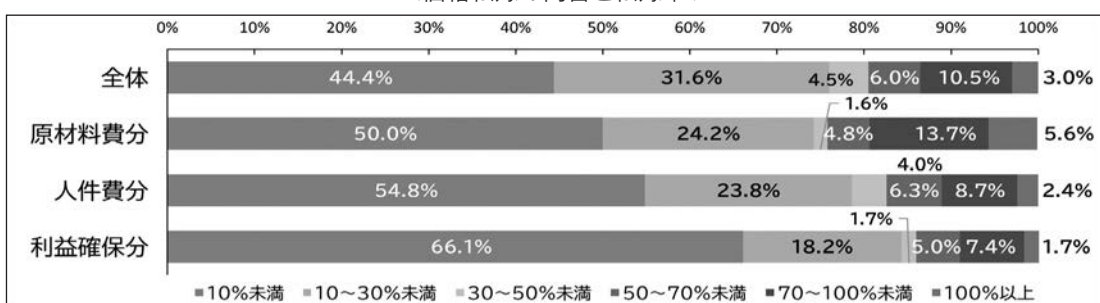
原材料費や人件費の上昇に対して、価格転嫁を行った企業は 47.4%にとどまり、全国平均(51.2%)を下回りました。対応を「未定」とする企業も多く、判断の難しさが浮き彫りになっています。

特に、企業が安定した経営を行うための「利益確保分」を 70%以上転嫁できた企業は 1割に満たず、収益確保への課題が残ります。

<価格転嫁の状況（全国比較）>



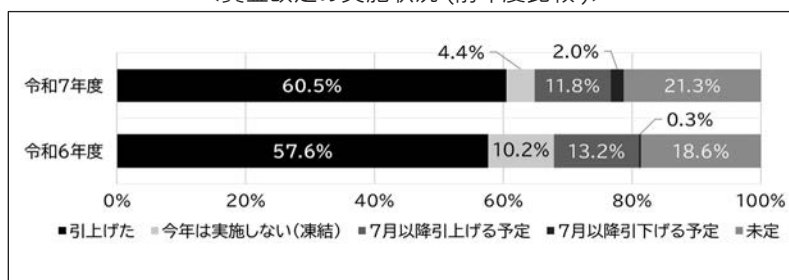
<価格転嫁の内容と転嫁率>



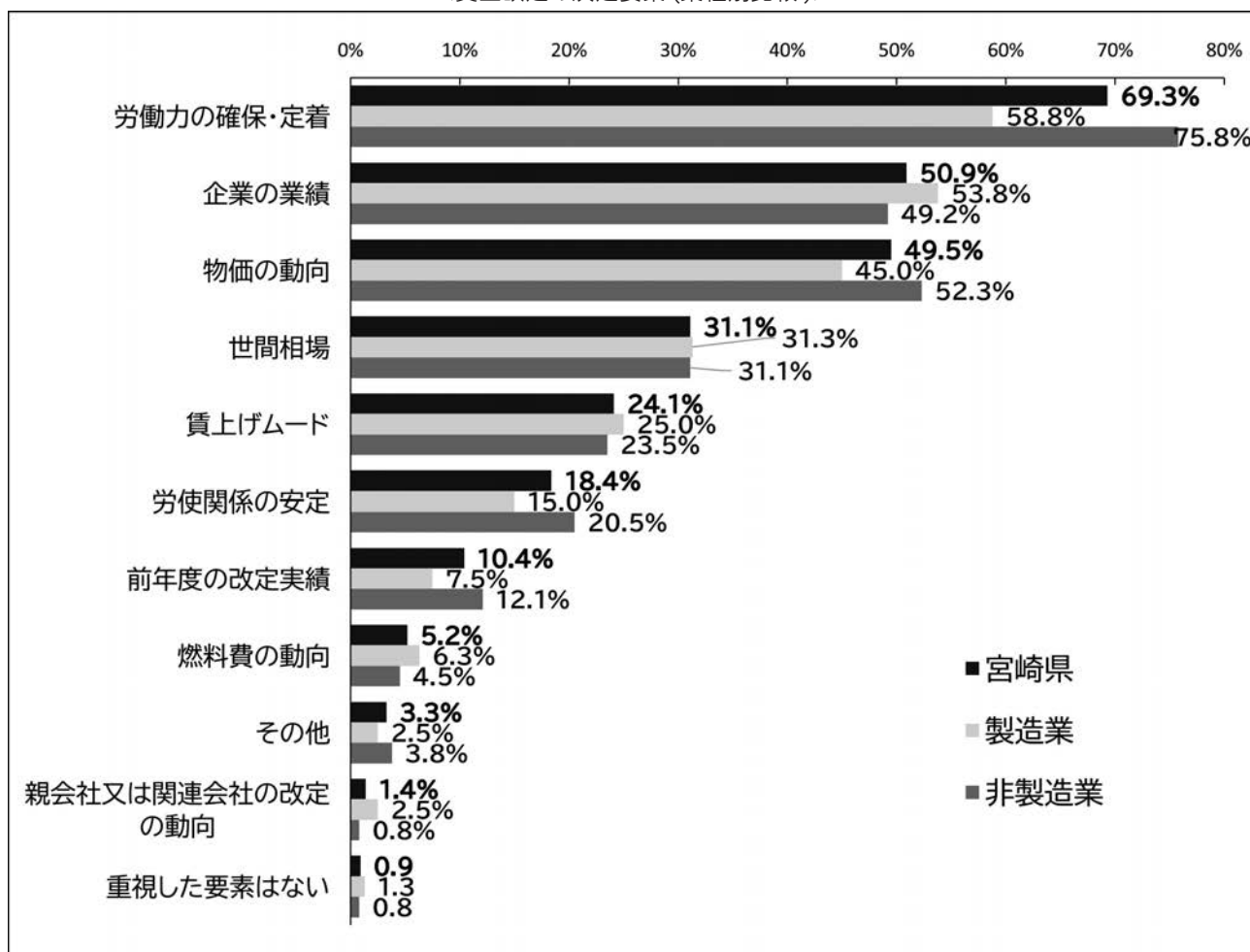
一方、賃金改定について、賃金を「引き上げた」企業は60.5%に増加しました。昇給額は平均で11,594円(前年10,632円)となり、従業員確保を目的に前向きな動きが強まっています。

賃金決定の要因では、「労働力の確保・定着」を重視する割合が最も高く、特に非製造業でその傾向が顕著です。

<賃金改定の実施状況(前年度比較)>



<賃金改定の決定要素(業種別比較)>



4 労働環境の改善と採用の現実

週40時間以内の労働時間を守る企業が97.9%となり、法定労働時間の遵守が進展しています。残業も「10時間未満」が最も多く、労働時間短縮が広がっています。

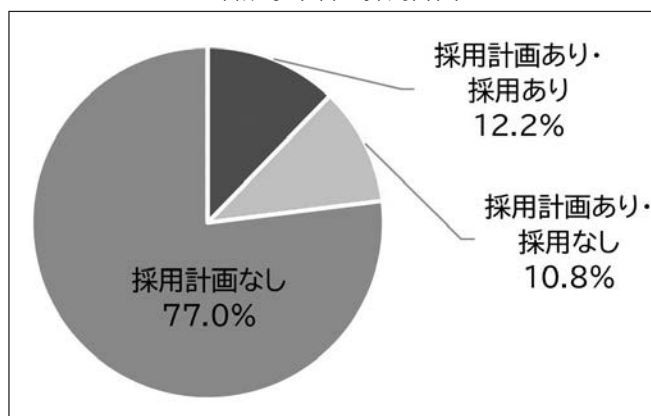
ただし、運輸業など一部では労働負担の高さが依然課題であり、業種間の格差が見られます。

年次有給休暇の平均取得日数は、10日で全国平均と同水準でした。多くの企業が5～15日の範囲で取得させており、消化率の改善が進んでいます。

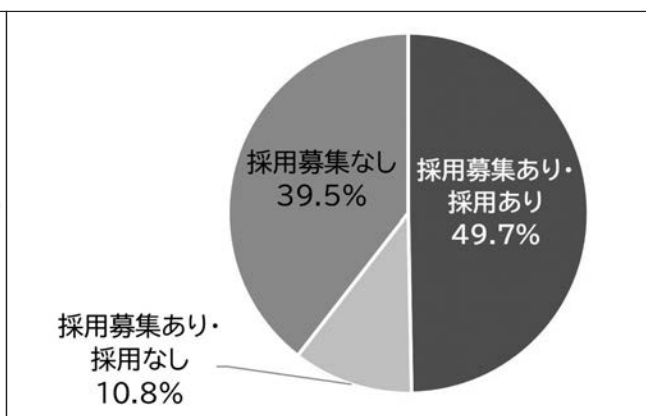
一方、採用動向では、新卒採用に「計画なし」と回答した企業が77.0%と多数を占めました。中途採用は、約6割の企業で実施されているものの、特に従業員9人以下の小規模事業所では、約4割が採用に至らないなど、採用活動が難航しています。

中途採用では「即戦力となる経験」を重視する傾向が強く、45～55歳層の採用が最も多くなっています。

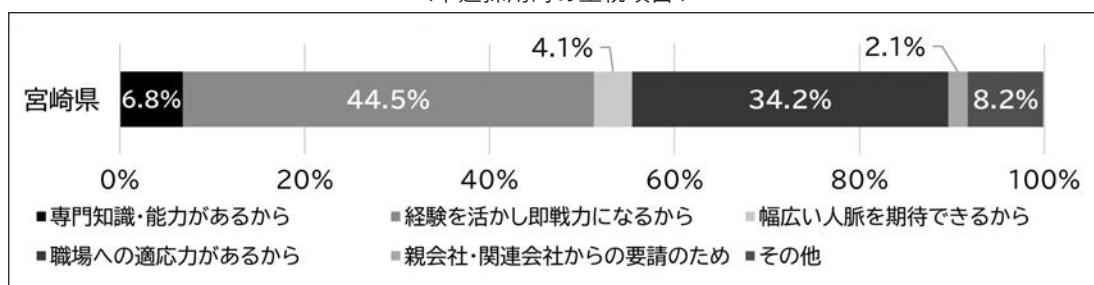
<新規学卒者の採用計画>



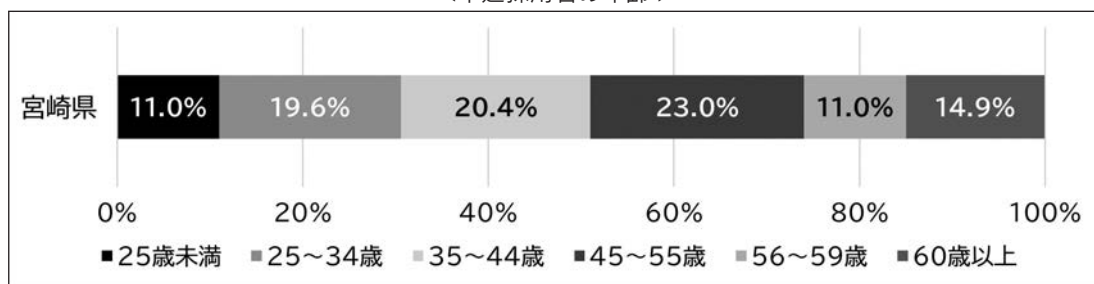
<中途採用募集>



<中途採用時の重視項目>



<中途採用者の年齢>



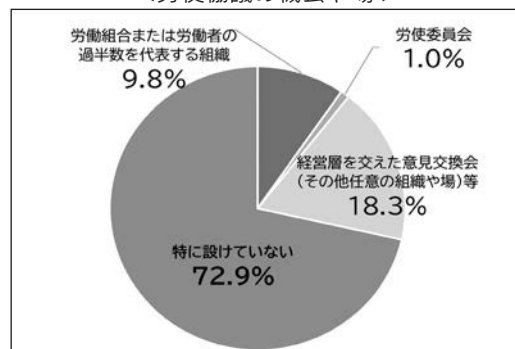
5 労使協議は拡大傾向、非正規雇用の話題は少数

労使コミュニケーションの場を「特に設けていない」という企業が約7割を占めていますが、規模が大きくなるほど協議を行う割合は上昇します。

協議内容では「労働時間・休日・休暇」が中心で、生産性や安全衛生なども全国平均を上回る実施率を示しています。

一方、「正社員以外の労働者に関する事項」の協議は依然として少なく、今後の課題といえます。

<労使協議の機会や場>



まとめ

県内中小企業は、厳しい経営環境の中でも労働条件の改善と人材確保に力を注いでいます。

一方で、価格転嫁の難しさや人手不足の深刻化など、構造的な課題は続いており、経営支援・雇用支援の両面からの対策が求められています。

本会では、引き続き会員組合及び組合員企業の実情把握と支援策の充実に努めてまいります。

上記を含む調査結果につきましては、『令和7年労働事情実態調査報告書』として取り纏め、本会 HPに掲載しております。

第77回中小企業団体全国大会(広島県)が開催されました

11月12日(水)に、広島県広島市の広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)において「つながる ひろげる 連携の架け橋 ～ 夢を語ってはしゃぎん祭! 轟轟(GoGo)と突き進め～」を大会テーマに第77回中小企業団体全国大会が開催されました。

大会では、越智俊之経済産業大臣政務官、山田雅彦厚生労働審議官、等の御臨席の下、全国から中小企業団体の代表者約2,100名が参集し、本県からは66名が参加しました。

大会の議事では、中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充、中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備など15項目を決議しました。

また、表彰式では、全国の表彰者(優良組合38組合、組合功労者73名、中央会優秀事務局専従者25名)の各総代に対して、全国中小企業団体中央会の森会長より表彰状と記念品が贈られました。



▲【開会挨拶】全国中央会 森会長



▲会場風景

本会においては、宮崎地区国有林事業協同組合(代表理事 蛭原俊美)様が優良組合表彰を、坂元耕三様(宮崎県消防用設備事業協同組合 代表理事)が組合功労者表彰を受賞されました。

続いて、次の全国大会は、令和8年11月19日(木)に熊本県熊本市で開催されることが発表され、大会旗が森会長から櫻井一郎熊本県中小企業団体中央会会長へと継承されました。

なお、中央会で企画したコースに御参加された方々については、大会当日の11月12日に宮崎を出発し、翌13日は、平和記念公園・広島平和記念資料館及び原爆ドームを見学した後、宮島に渡り、世界遺産の厳島神社などの名所を観光しました。平和記念資料館や原爆ドームでは平和の尊さについて改めて考える時間となり、宮島では厳島神社の美しい佇まいが旅程を彩りました。御参加いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

宮崎県の全国中小企業団体中央会会長表彰者(敬称略)



優良組合

宮崎地区国有林事業協同組合(代表理事 蛭原俊美)

(写真中央)



組合功労者

坂元耕三(宮崎県消防用設備事業協同組合 代表理事)

(写真中央)



▲【参加者の皆さま】全国大会にて



▲【参加者の皆さま】平和記念公園にて



▲【中央会コース】秋の宮島



Report

中小企業省力化投資補助金及びものづくり補助金の事業説明を行いました

10月28日(火)に延岡地区建設業協会延岡建設会館2階大会議室にて、出前講座「地元企業支援制度について～人材確保制度・移住定住施策・各種補助金等～」が開催され、中小企業省力化投資補助金及びものづくり補助金の事業説明を行いました。

中小企業省力化投資補助金は、中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするために人手不足に悩む中小企業等に対して省力化投資を支援するもので、汎用製品を一覧にしたカタログから導入製品を選ぶ「カタログ型」とオーダーメイド設備を導入する「一般型」があり、応募から事業完了までを解説しました。

また、ものづくり補助金は、中小企業・小規模事業者が生産性向上に資する革新的な新製品・新サービス開発や海外需要開拓を目的とした設備投資・システム導入を行う際に活用できる補助金であり、制度の概要について説明を行いました。

中小企業省力化投資補助金及びものづくり補助金の制度説明会については、中央会として各組合向けに実施いたしますので、御希望の組合は、中央会の組合担当者に御相談ください。



▲会場風景

「レディース中央会全国フォーラムinあいち」が開催されました

10月29日(水)に、愛知県名古屋市のANAクラウンプラザグランコート名古屋において、レディース中央会全国フォーラムinあいちが開催され、全国各地から約230名の女性経営者や中小企業組合等の女性役職員等が参集し、本県からは11名が参加しました。

基調講演では「愛知の歴史に学ぶ産業史」と題し、名古屋大学客員教授の大塚耕平氏の講演が行われました。

基調講演終了後、マラニカ代表の佐々木昌美氏をコーディネーターとして、「地域の特色ある産業や取組み(お国自慢)～地域や業種の垣根を越えたビジネスマッチングにむけて

～」をテーマにグループディスカッションが行われました。各グループで他県の女性経営者や女性役職員の皆さん同志活発な意見交換が行われ、有意義な時間となりました。

フォーラム終了後に開催された交流懇親会では、どまつりダンスチームkaguraやサックス侍によるアトラクションとともに、地域や業種を越えた情報交換が行われ、参加者は大いに盛り上がりました。

本フォーラムへの御参加と御協力をいただきました皆さまには心よりお礼申し上げます。



▲ 吉田全国レディース中央会会長(宮崎県レディース中央会会長)



▲ 基調講演 大塚講師



▲ グループディスカッション 佐々木コーディネーター



▲ 会場風景



レディース中央会に加入しませんか?

女性経営者等で組織されるレディース中央会(中央会女性部 会長 吉田陽子)は、女性ならではの感性や能力を経営に活かすことで地域経済を活性化するため、研修会や交流会などの活動を通じて、会員の資質向上と相互交流を図っています。

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 1 名称 | 宮崎県レディース中央会(設立:昭和52年8月) |
| 2 代表者 | 吉田 陽子(全国レディース中央会 会長兼務) |
| 3 会員 | 38(団体会員:10、個人会員:28) |
| 4 事業 | ・研修会、視察研修、交流会
・各種ボランティア活動 等 |

お問合せ先

宮崎県中小企業団体中央会

レディース中央会事務局(前田、新名、福島) TEL 0985-24-4278

宮崎市生活系一般廃棄物処理事業協同組合がカスタマーハラスメントに関する講習会を開催しました

11月7日(金)に、宮崎市の宮崎市民プラザにおいて、宮崎市生活系一般廃棄物処理事業協同組合がカスタマーハラスメントに関する講習会を開催しました。

当講習会は、令和7年度制度改正等の課題解決環境整備事業を活用し、「カスタマーハラスメントについて」をテーマに、社会保険労務士である江夏慶二郎氏による講義を行いました。

「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律」の改正が令和7年6月11日に公布され、公布の日から1年6月以内に施行されることから、カスタマーハラスメント等の防止措置が事業主の義務となるため、参加者の皆様は、熱心に聴講されていました。



▲ 会場風景



▲ 江夏講師

九州中小企業組合士協会連合会第36回通常総会・九州ブロック合同研修会が開催されました

11月6日(木)から7日(金)にかけて、佐賀県佐賀市において、九州中小企業組合士協会連合会第36回通常総会・九州ブロック合同研修会が開催されました。九州中小企業組合士協会連合会は、九州6県の中小企業組合士協会で構成されており、毎年、各県持ち回りで通常総会と合同研修会を開催しています。

1日目は、九州ブロック合同研修会における視察研修となっており、SAGA COLLECTIVE協同組合に所属されている2つの企業を視察しました。

まず、のり道楽三福海苔株式会社において、「中小企業組合の共同事業によるカーボンオフセットの実践について」というテーマで、専務取締役の川原峻氏から御講義をいただいた後、IT利活用による省力化の取組について工場を視察しました。

続いて、レグナテック株式会社において、木材加工における環境負荷低減を目的とした取組について工場見学を行った後、代表取締役会長の樺島雄大氏から御講話をいただきました。

2日目は通常総会が開催され、令和6年度事業報告及び収支決算、令和7年度事業計画及び役員改選等が原案どおり可決、承認されました。

参加者の方々は、研修会に熱心に参加されるとともに、交流会では、それぞれが所属する九州各県の状況等について情報交換を行っていました。

令和7年度組合事業承継セミナーを開催しました

10月17日(金)に、オンライン方式(Zoom)にて、令和7年度組合事業承継セミナーをオンラインで開催しました。

本セミナーは、「宮崎県事業承継・引継ぎ支援センターの取組について」というテーマで、宮崎県事業承継・引継ぎ支援センターの承継コーディネーターである岡村巖氏から、宮崎県内の事業承継の近況から直近の事業承継の支援事例等について講義いただきました。

本セミナーが、参加者である組合並びに組合員の皆様にとりまして、事業承継に取り組む意義等について再認識する機会となっていれば幸いです。

宮崎県食品産業協議会が県外視察研修で沖縄県を訪問しました

宮崎県食品産業協議会では、10月21日(火)～22日(水)に県外視察研修を実施し、沖縄県の石垣市と名護市を訪問しました。

初めに、石垣市の基幹産業である製糖業について学ぶため、石垣島製糖株式会社を訪問しました。訪問時はサトウキビの収穫期ではなく工場は稼働していませんでしたが、施設内を見学しながら製糖工程や機械設備について詳しい説明を受けました。また、サトウキビの搬入から搾汁、煮詰め、結晶化に至るまでの一連の流れを映像で紹介していただき、製糖の全体工程を理解することができました。同



▲ 研修風景

社は島内農家との連携を重視し、地元農業の振興や安定した収入の確保に取り組んでおり、地域経済を支える製糖業の重要性とその持続的な発展に向けた努力について学ぶ貴重な機会となりました。

続いて訪問したオリオンビール名護工場では、原料の選定から醸造、瓶詰・缶詰までの一連の工程を見学しました。地域資源を活用した環境配慮型の生産体制や、最新設備による効率化、徹底した品質管理などについて詳しい説明を受けました。

普段なかなか訪れる機会のない県外企業の工場内部を見学し、各企業の経営姿勢を直接学ぶことができ、参加者にとって大変有意義な研修となりました。



▲ 工場見学の様子



▲ 工場見学の様子

「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」をオープンしました

中小企業庁では、中小企業・小規模事業者による賃上げ・最低賃金引き上げへの対応を応援するため、「賃上げ・最低賃金対応支援特設サイト」を立ち上げました。中小企業庁が、中小企業向けに設置している「ミラサポplus」の中に設置しています。本サイトでは、関連する補助金や相談窓口などの支援策をお示しするとともに、賃上げ・最低賃金引き上げに関する最新情報が提供されます。



《 中央会行事予定 》

レディース中央会研修会

開催日: 令和7年12月17日(水)
開催場所: 宮崎市「ホテルJALシティ宮崎」

中央会正副会長会・理事会・新春交流会

開催日: 令和8年1月20日(火)
開催場所: 宮崎市「ニューウェルシティ宮崎」

中小企業組合事務局連絡協議会第5回研修会

開催日: 令和8年2月20日(金)
開催場所: 宮崎市「ひまわり荘」

宮崎県中央会第71回通常総会

開催日: 令和8年5月28日(木)
開催場所: 宮崎市「宮崎観光ホテル」



表紙紹介

黒砂糖を作る伝統製法「さとねり」

12月、日南市風田地区では、サトウキビから黒砂糖を作る伝統製法「さとねり」が始まります。江戸時代後期から300年以上にわたり受け継がれてきたこの風習は、今も地域の人々の手で大切に守られています。

写真は、風田製糖組合で行われる「さとねり」の風景です。「さとねり」とは、伝統的な黒砂糖作りで、自分たちで育てたサトウキビを搾汁機にかけて絞り、木製の釜で煮詰め、箱に流し込むまでの工程全てを指し、その伝統技術を一目見ようと近所の人だけでなく、遠方からも見学者が訪れます。かつては日南市内で30軒以上あったさとねり小屋は、宮崎県内でも風田製糖組合1軒のみとなりました。この貴重な伝統と文化を次世代に繋ぐため風田製糖組合では、後継者不足や施設の老朽化など厳しい状況の中、地元の保育園児や小学生へのサトウキビ収穫体験や製造体験など、伝統の味と技術を後世に残すため、保存活動も行っています。

手間暇かけて作られる風田の黒砂糖は、地域の誇る逸品です。この逸品を生み出す日南市風田地区の「さとねり」は、地域の暮らしと伝統、そして美味しい恵が詰まった、唯一無二の文化です。ぜひ一度、この甘い香りに包まれた「さとねり」の現場を訪れ、温かい人々と地域の味に触れてみませんか？

(日南市提供)



ほっとひと息

「冬眠したい私たち」

連日、熊出没のニュースで騒がしいこの頃。10月には組合の全国大会で北海道にいました。熊には遭遇しませんでした、なかなかインパクトのある3日間でした。

朝の冷え込みが厳しくなり、出勤前に布団から出るまでの時間が、日ごとに長くなっている気がします。会議に出ても、どこか皆の動きがゆっくり。気づけば、人間のほうが「冬眠モード」に入った熊の集まりのようです。

「寒いから、今日はゆっくり行こうや」などと言いたくなりますが、会社も組合もそうはいきません。年末も来年も、こちらの都合を待つてはくれないのが現実です。とはいえ、こんな時期だからこそ、少し立ち止まって考える時間も大切かもしれません。

宮崎県中小企業団体中央会青年部
副会長 鎌田 直樹



自然界では、冬眠は「休むこと」ではなく、「次の春に備えること」だと聞きます。エネルギーを温存しながら、芽吹き準備をしているのだそうです。私たち経営者も同じで、寒い時期には慌てて動くより、来るべきチャンスのために知恵を温める季節なのかもしれません。

とはいえ、温めすぎて本当に寝過ぎしてしまわないように要注意。春が来たら元気よく動き出せるよう、せめて頭の中だけは常に「目覚めた状態」でいたいものです。

外に出れば吐く息も白く、冬の空気が身にしみますが、その冷たさの向こうに、確かに春の気配は近づいています。暖房の効いたリビングのソファでうたた寝しそうになりながら、そんなことを考える今日この頃です。

(都城電気工事業協同組合青年部 監事)

全体概況

DI値は、前月と比較して、売上高は10ポイント低下、収益状況は4ポイント改善、業界景況は6ポイント改善となった。

【前年同月比の業界の景気動向】

(DI値)

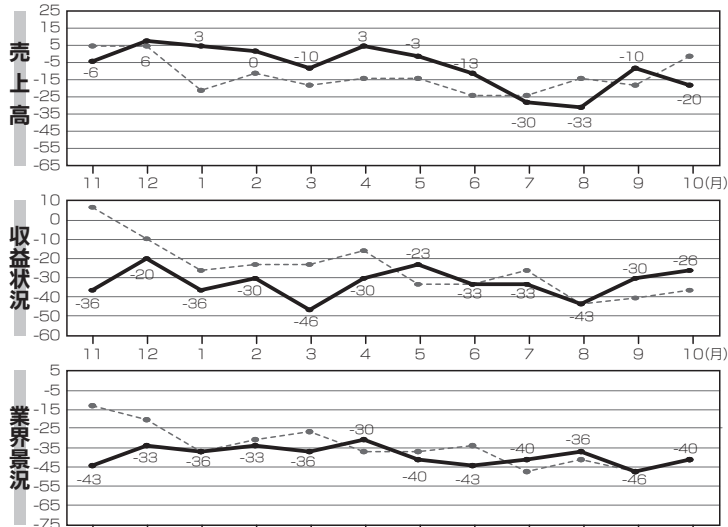
【主要3指標DI値推移】

----- 令和5年11月～令和6年10月
 ——— 令和6年11月～令和7年10月

業種	項目	売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	☁	☁	☁
	木材・木製品	☂	☁	☂
	出版・印刷	☂	☂	☂
	窯業・土石	☁	☀	☂
	鉄鋼・金属	☂	☁	☁
非製造業	卸売	☀	☁	☂
	小売	☁	☂	☂
	商店街	☂	☂	☂
	サービス	☁	☂	☂
	建設	☂	☂	☂
	運輸	☂	☁	☂

☀30以上 ☁10～30未満 ☂-10～10未満 ☂-30～-10未満 ☂-30未満

※網掛けについては、特に悪化した項目 ※DI値＝[(増加・好転組数－減少・悪化組数)／調査対象組数]×100



木材・木製品

製材業 秋の需要期(秋需)に期待していたものの、今年はそうした需要の発生が見込めない状況である。住宅着工数が伸び悩むなか、大手ハウスメーカーが地元にも参入してきている。大手企業には容易に太刀打ちできないため、今後は従来とは異なる手法で、日々模索しながら事業に取り組んでいく所存である。

製材業(プレカット) 10月の生産坪数は、先月比で約15%減、前年同月比でも約15%減の状況となった。例年であれば9月から12月は業界の繁忙期にあたる期間であるが、今年も含めてここ数年は繁忙期としての雰囲気は全く感じられない。廃業する同業者の話も出始めており、淘汰が進行する時代に入ったことを肌で感じている。昨日の紙面には、全国の住宅着工数が4月から9月までの6ヶ月連続で減少しているとの記事が記載されており、特に注文住宅の減少が大きいとのことである。

木製品製造業 物価高の影響により、住宅の新築件数がかなり減少しており、需要の減少を感じる。

印刷

印刷・同関連業 この3か月間は、受注が大幅に減少した。これはこれまでで最も大きな減少であり、それに伴い稼働率も低下している状況である。受注の確保が困難になっていることに加え、最低賃金の上昇が経営を圧迫している。民間においては価格転嫁について理解を得られているようであるが、官公需においては、いまだに実現に至っていない。

印刷・同関連業 取引先より、10月から用紙が値上げされるとの通知があった。現在のところ、実行に移されている事例はほとんど見られないが、近いうちに値上げが実行されることは確実であると見られている。その際、利益を確保するための具体的な手段をどのように講じるかについて、直近の役員会にて聞き取りを実施する予定である。

窯業・土石製品

窯業・土石製品製造業 10月単月の出荷数量は前年同月比67%、累計では前年同月比80%となった。出荷量は予算通りではあるものの、前年比で2割減である。組合員の経営状況を聞き取りながら、来期の販売単価について検討を進める。

窯業・土石製品製造業 前年同月と比較すると182%、累計では77.5%となる。販売価格は値上げ済みであるが、この数値はさすがに少なすぎる。10月以降の高速道路関連の出荷が順調に推移することを期待する。

卸売業

卸商業 最低賃金の上昇に伴い、パートタイマーの就業可能時間は減少していく傾向にある。

小売業

機械器具小売業 中古車市場においては輸出が活発化し、25年度上期は過去最高を更新した。その影響で、流通における中古車価格が高騰し、全国的に海外バイヤーに買い負ける事態が多発しており、中古車販売店の倒産が相次いでいる。宮崎においては、過去に鹿児島、熊本で発生した豪雨災害により車両が被災した結果、代替車両の需要が集中し、中古車は高値となった。中古車を取り扱う組合員は、高値により車両が仕入れられないという問題に直面している。さらに、整備士不足も影響し、仕事は入るものの手がつけられないといった問題を抱える組合員も少なくなく、外国人材の登用を検討している組合員もいる。11月の最低賃金引き上げも、今後の経営における課題となる見通しである。

LPガス小売販売業 10月合成CP価格(サウジ通告価格)は507.5ドル/トン(前月比△12.5ドル/トン)。9月MB価格(米国内産平均価格)+(物流経費90ドル/トン)は446ドル/トン(前月比+9.0ドル/トン)。対顧客電信売相場(9月平均)は148.99円/ドル(前月比+0.28円/ドル)。原油価格はOPECプラスのさらなる増産検討、また、ウクライナによるロシア輸出港湾や製油所へのドローン攻撃等の要因で小幅な値動きこそあったものの前月比ではほぼ横ばい。LPG価格についてはMB価格は微増、CP価格は不需求期も終わり冬季に向け上昇するとの方の予想に反し下降した。

商店街

宮崎市 時間帯に関わらず、商店街の人通りが少ない状況が続いている。

都城市 10月にもかかわらず、30度を超える日が多かった。本来、行楽シーズンで外出頻度が上がるはずであるが、日中の気温が高いと人出が少なくなる傾向にある。一方で、プロ野球チームの試合やキャンプが始まり、県内外から来客があったため、週末などは球場付近が賑わった。イベントなどもまちなか広場で開催され、多くの人が来場していた。今後は、来場者が商店街を回遊してくれることで更なる賑わい創出につながるが、来場者を受け入れる店舗数が少ない状況では、その効果を十分に発揮できていないのが現状である。

サービス業

観光業 準備万端を整え、10月の繁忙期に入った。仕事量は前年とほぼ変わらない状況である。月末になり急に冷え込んできたため、12月上旬まで続くシーズンを無事乗り越えられるよう、体調管理に留意していきたい。

自動車整備業 今月の入庫台数は微減であった。しかしながら、人手不足の現状では、仮に入庫台数が増加したとしても、十分に対応できるか否かについて懸念が残る状況である。

自動車運転代行業 10月は閑散期ではあるが、今年は繁華街への人出が例年にないほど少ない。その原因が新型コロナウイルス感染症(コロナ)によるものか、インフルエンザによるものかは不明である。税や社会保険料などの負担率が高いことも、人出が減少している原因の一つであると考えられる。

建設業

管工事業 国土強靱化の観点から、水道施設工事においては、老朽管の入れ替えが今後ますます増加すると予想される。しかしながら、管工事全体においては、大型物件の減少から厳しい状況にある。

運輸業

軽貨物運送業 10月度は、若い新規加入者2名を迎え、減少傾向にわずかながら歯止めがかかった。高齢化の影響により売上は若干減少している一方で、仕事量が増加しても対応に苦戦しているのが現状である。運賃料金改定の依頼等も行っているが、前向きな回答はほとんど得られず苦慮している。他の貨物軽自動車運送事業者も同様の状況であり、経営環境は悪化の一途を辿っていると考えられる。

貨物運送業 原油価格は、ロシアによる北大西洋条約機構(NATO)加盟国への領空侵犯や、ウクライナによるロシアの石油関連施設への攻撃などによる供給不安に加え、米国の利下げ再開観測によるドル安進行などから上昇した。これに伴い、国内市場価格も上昇し、値上げとなる見込みである。組合員は高値で推移する価格に困惑している。



中央会だよりに関するお問合せ

「中央会だより」では、県内中小企業組合の皆様の活動をPRするため、イベント情報や各種研修会・講習会等の開催情報を募集しております。お申込み・御相談をいただければ、当会より取材にお伺いします。



宮崎県中小企業団体中央会

〒880-0013 宮崎市松橋2丁目4番31号 宮崎県中小企業会館3F

[発行人] 堀之内 芳久 [編集人] 岩切 喜郎

[TEL] 0985-24-4278 [FAX] 0985-27-3672

[URL] <http://www.himuka.or.jp> [E-mail] info@himuka.or.jp

太陽ビジネスクラブセミナー 次世代塾 第11期生募集!

事業承継・後継者育成

これまで「293名」が受講した人気のセミナーです。
県内の経営者、後継者等を対象に「次世代塾」を開催いたします。
後継者に求められる「経営力」の基本と応用、実践演習を交えながら学んで頂き、異業種間の交流も喜ばれています。

- 日 時 日程 2025年6月より全12回を実施予定
時間 10:00～17:00 (毎月1回開催)
- 場 所 宮崎太陽銀行 本店2F 大会議室
(宮崎市広島2丁目1番31号)
- 対 象 者 企業の後継者、新経営者、経営陣、経営幹部
- 募集定員 25名
- 主 催 (株)宮崎太陽銀行 太陽ビジネスクラブ
- 問合せ先 (株)宮崎太陽銀行
営業統括部 TBC事務局
TEL:0985-60-6393

テーマ

各テーマを各3回ずつ全12回

経営編(全3回) ～リーダーシップとマネジメント～
戦略計画編(全3回) ～戦略思考と計画力～
人材組織編(全3回) ～組織形成と人材育成～
財務計数編(全3回) ～計数感覚と収益構造～

(詳細はTBC事務局までご連絡ください)

受講料

TBC会員 36,000円 1テーマ／ 9,000円
非会員 60,000円 1テーマ／ 15,000円



宮崎太陽銀行

ご案内

元受団体：全日本火災共済協同組合連合会 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-11-2

自動車総合共済MAP

最初に入った自動車保険(共済)そのまま継続していませんか?

相互扶助による非営利の共済制度です!

自動車保険(共済)を
見直してみませんか?



中小企業・個人事業主の皆様
大変ご好評を頂いております!

現在ご加入中の保険証券(共済証書)を
お見せください!

非営利の共済制度で納得安心な
自動車総合共済MAPをご案内いたします。



お問合せは宮崎県火災共済協同組合まで!
TEL:0985-24-1424 FAX:0985-23-9001

万一事故に遭われても翌年以降の掛金負担増を軽減

事故有等級制度を導入していません!

非営利の共済団体だから

納得の掛金

わかりやすい掛金料率制度
お車の使用目的別の区分なし
被共済者年齢別の区分なし

独自の見舞金制度

対人・対物見舞金

全車種24時間365日対応

ロードサービス

(ロードアシスタンス特約)
提携業者:株式会社プライムアシスタンス

2025.1

このチラシは自動車総合共済MAPの概要について記載したご案内文書です。
詳細につきましては、上記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社

生命保険団体扱オーナーズプランのご案内

BESTパートナー

大樹生命



「経営者のリスクマネジメント」を目的に
組合員がご契約者となる生命保険契約です。

Owner's Plan

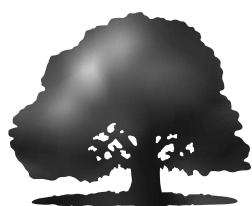
宮崎県中小企業団体中央会が事前に認めた会員組合に所属する組合員がご契約者の場合、団体扱^{*}となり、一般扱(口座振替扱月払等)よりも
割安な保険料でご契約いただけます。

* 団体扱とは、宮崎県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込む取り扱いのことです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございます。
※ 詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

よりそう保険。



大樹 Taiju Select
セレクト

無配当保障セレクト保険

あなたにぴったりの保障を自由にセレクト!

詳しくは、「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおりー約款」を必ずご覧ください。

オーナーズプランは、上記以外の商品もお取り扱いしています。詳しくは下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 宮崎営業部

〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東3-1-47 宮崎プレジデントビル8F TEL:0985-27-1133

<https://www.taiju-life.co.jp/>

R-2021-1007(2021.10)

商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。



人を思う。未来を思う。

商工中金

宮崎支店 0985(24)1711

〒880-0811 宮崎市錦町1-10 ●JR宮崎駅西口(KITEN 1F)

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索